

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度第3回佐渡市公の施設指定管理者選定委員会（産業部会）
開催日時	令和 元年 10 月 9 日（水）9:00～16:40
場所	佐渡市役所 3階 大会議室
議題（会議内容）	<p>1 開会</p> <p>2 審査及び採点方式など全体説明</p> <p>3 議題（審査）</p> <p>（1）ドンデン山荘</p> <p>（2）佐和田森林公園オートパークさわた</p> <p>（3）サンライズ城が浜</p> <p>（4）赤泊自然休養村管理センター</p> <p>（5）交流センター白雲台</p> <p>（6）窪田キャンプ場</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開（一部非公開 プレゼンテーション、申請者の収支に係る部分等は、申請者の業務において不利益となる可能性があるため、非公開とする。）
出席者	<p>≪佐渡市公の施設指定管理者選定委員≫（6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長 長澤栄吉 委員</li> <li>・委員 加藤透 委員、岡本美絵 委員、内田鉄治 委員、小澤三四郎 委員 山本康裕 委員</li> <li>・市役所（6名）</li> </ul> <p>事務局</p> <p>観光振興課</p> <p>課長補佐 金子 明弘</p> <p>観光施設係長 兵庫研司</p> <p>観光施設係主任 鍵谷 卓、佐藤 由加里</p> <p>防災管財課</p> <p>管財係主任 長嶋 麻紀</p> <p>管財係主任 長尾 啓介</p>
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>1 開会 （事務局 観光振興課課長補佐より開会宣言）</p> <p>2 審査及び採点方式など全体説明</p> <p>3 議題 （1）ドンデン山荘 サンフロンティア佐渡㈱ （2）佐和田森林公園オートパークさわた 大佐渡トレッキングガイドクラブ （3）サンライズ城が浜 （一社）赤泊振興公社 （4）赤泊自然休養村管理センター 赤泊農林漁業観光 （5）交流センター白雲台 旬浦島 （6）窪田キャンプ場 OuT DooR' s</p> <p>（ドンデン山荘） サンフロンティア佐渡㈱説明</p>
内田委員	収支計画について決算書で第2期とあるが、いつ会社ができたのか。
サンフロンティア佐渡	平成29年11月にサンフロンティア不動産㈱の子会社としてできた。
内田委員	初期投資にはだいぶお金がかかると思う。資料を見るとドンデン山荘は全体的にかなりマイナスが出ている。個人の借入れということであまり利子はかからないと思うが、大きな会社なのでドンデン山荘が入ることによってマイナスになると大変なのではないか。
サンフロンティア佐渡	確かに2年目の会社なので設備投資がかなりかさんでいる。今、我々が目指しているのは、一つは減価償却前の中で少々の赤字は覚悟しているがイコールに持っていきこうと進めている。ただ今年は台風で数百万円ほど売上げが逃げていく可能性がある。この気象条件が本当に厳しい。今年だけでも8～10月の台風で売上が落ちている。今回やられるとグループで1千万円を超える売上が減ると思う。非常に痛い所だが、これは気象災害なので仕方がない。連結決算であるので、決算自体が赤字でどうにもならないという事態にはならない。ドンデン山荘は現状でどうにか黒字の状況なので、雇用を拡充しながら進めるにしても大きな赤字を生み出すようなことはないと考えている。ただし我々としてはドンデン山荘にしっかり人を派遣しながらホテル経営、客に満足してもらおう山岳のホテルとしての有り方をしっかり協議しながら進めていきたいと考えている。

小澤委員	<p>900メートルを超える山での宿泊ということと、山荘も並列するような形で緊急避難する場所でもあることで安全確保、安全管理体制についてあまり論じられてないような気がする。社員が救急員の資格を受講するなどの計画や予定はあるか。</p>
サンフロンティア佐渡	<p>現在、経営している方とトレッキング協議会とで既存のドンデン山荘のマニュアルをベースにしながら、当社ホテルの客の対応マニュアルを加えていくことを考えている。既存のマニュアルがしっかりできているとのことなので、まずはそこを重視しながら経営することが決まり次第、専門家の意見を聞き、指導してもらいオープンまでにはしっかりと作っていくという考えである。</p>
加藤委員	<p>自主事業でライナーバスや回送を行うことはとても良いと思う。それは5月からではなく6月以降に行うというイメージか。</p>
サンフロンティア佐渡	<p>市側とバッティングしないよう基本は6月からと考えている。ただし、利便性、必要性について今後調査したいと思っている。ライナーバスが1日2往復で十分だということであればそこに手を出す気はないが、客の状況、動き及び要望を調査した上で5月から必要なかどうか検討したい。観光交流機構（DMO）等から指導を受けながらホテルと一緒にアクセスを考えていくという視点も持って客の利便性を最優先に考えたい。</p>
加藤委員	<p>非常にコストが掛かる施設なので大変だと思う。売上を20%増やすには、5月は一杯なのでそれ以外の時間を増やすということで認識している。佐渡市の条例が関わってくるが具体的な方策と売上げを上げる為には、逆に5月とそれ以外の時期の料金の差をつけた方が良いのかどうか。さらに集客をする為に旅行会社との付き合いをどういうふうにしていくか。特にOTA(インターネット上のみ取引する旅行会社、予約サイト)などの対策を考えないと集客が難しいと思うので、そのあたりをどういうふうにかけているのか聞きたい。</p>
サンフロンティア佐渡	<p>まず集客について、ホテル連携の中でグループ内での共通券を含めた誘客を具体的に議論している。利益率を出す運営をしていくということでそちらを主流に進んできたのが事実である。しかし、これからの個人客に対してOTAをどういうふうを持っていくか、対応を考えていくことも必要かと考えており、各サイト会社と定期的に議論しており、こちらの知恵次第という所がある。今、リピーターの多いたびのホテルの客は、観光客が多く入ってきている。観光客も大人数の部屋よりシングル部屋の利用が多くなってきている。そういう方々にどう発信していくかというのが一つのテーマである。また、コストがかかるレンタカープランやトレッキング客用のライナーバスをどうつなげていくかということもテーマである。ライナーバスにコストがかかることは十分分かっている。例えばジャンボタクシーは融通がきく。レンタカーとすることもでき、ホテルからやり取りすることも可能。そういう形で誘客の方は多様に進</p>

<p>岡本委員</p>	<p>めていく必要があると思っている。また、ドンデン山荘に従業員が行って見たところ、5月以降についてビジネス客でも1泊ぐらいは利用するのではないかと。あの風景の中でパソコンを開くと心豊かになる。2人と4人の個室もあるので十分個人客にも対応できる。5月前後についてもう少し情報発信していきたい。トレッキングの期間があるのは十分分かっているが、期間をもう少し延ばしながら広くPRしていきたい。山に上がるのが大変だが、美しい景色を一つの魅力とした宿泊施設と考えると非常にコストが安い。3人ぐらいで泊まると、朝夕食付けて7～8千円程度で泊まれる。そういう部分の提案をしていきたい。トレッキングの期間以外をどう詰めるかということに力を入れていくことが大事だと考えてやっていきたい。</p> <p>安全管理について、職員の配置計画で社員が4人、避難場所でもあることから社員2人の常駐を基本的に行うことで安全確保に努めていくこととなっているが、4人で今の雇用体制でやっていけるものなのか。</p>
<p>サンフロンティア佐渡</p>	<p>忙しい時はもちろん臨時で3人ほど頼む予定であるが、安全管理については、現在経営している団体から雇用管理対策を確認した上で記載している。今我々が直接経営していないので、本当にもう1人要るのか、2人要るのか踏み込めない状況なので、既存の施設の方法で記載した。これは最低限やるということである。現在、検討しているが2人日直で昼間の勤務を考えるともう1人必要であると考えている。この中で雇用形態をもう少し聞き取りながら、労働基準法に違反せずに雇用を行う。その中でどうしても山の経験者、ベテランが居ないとトレッキング客に何が魅力か聞かれてもトンチンカンな答えしかできなくなるので今いる方をきちんと採用しながら、ホテルマネージメントの方をもう1人増員という形でシステムとしてできないかと考えている。当直は客が居れば2人、居なくても1人は必要と聞いている。従業員と客の安全確保を考えていかなければいけないと思っている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>自主事業の計画について、多数記入されているが、これはドンデンファンクラブやトレッキング協議会の既存のものなのか、新しく山荘で考えている事業なのか。</p>
<p>サンフロンティア佐渡</p>	<p>新規事業である。現在は芝草原の草刈りのみである。今までは人手が無かったが今後人数が増えるのでできるかと思う。こちらに関してはトレッキング協議会と連携してやることを考えているので情報を得て記入した。</p> <p>(佐和田森林公園オートパークさわた) 大佐渡トレッキングガイドクラブ説明</p>
<p>内田委員</p>	<p>収支決算書について、平成28～30年の実績が上がってきているがその理由には何が考えられるか。施設が良いということか。</p>

大佐渡トレッキングガイドクラブ	インターネットでは顔が見えないので予約は携帯電話で受けている。携帯に日付、住所、名前と全部入っているので、そのときの一言や対応などが良いのではないかと考える。
内田委員	口コミで評価が伝わっていくということか。
大佐渡トレッキングガイドクラブ	話しをしているとこの方は家族と来ているとか、犬はどうするかとかの詳細を話しながら全て伝えることができる。元々、山のガイドや町のガイドをやっているものでそういうことは苦にならない。そういったことがリピーターに繋がってくるのではないだろうか。このような施設は天気次第であり、この間も 4~5 件予約が入っていたが、また台風が直撃するというので早々とキャンセルすることなど結構ある。その時に嫌な顔をせず、丁寧に対応しているのでまた使ってくれる。
長澤委員長	収支決算書を見ていくと、収入の方が平成 28~30 年度、20 万円ずつ増えていっている。収支計画書の令和 2 年度~6 年度は増えないということか。
大佐渡トレッキングガイドクラブ	同じように収入が伸びるとも言えないので収入が伸びた分については、他の施設の視察や 25 年分溜まった施設周りの側溝のゴミ掃除のために使いたいと考えている。指定管理 3 年間、補助金 0 円でやっているというのが私達の自信になっているので、何とか 0 円でも運営ができて最低限これをやれば誰がやっても運営できるというしくみを作りたい。そろそろ次の世代にこのノウハウを伝えたいと思う。ガイドも若い人に引き継いでいる。キャンプ場の方もある程度の道をつけたら若い人に譲ろうという気持ちでやっている。
長澤委員長	団体名が大佐渡トレッキングガイド倶楽部となっているが、個人事業主なのか何かの団体なのか。確定申告はどうしているのか。
大佐渡トレッキングガイドクラブ	指定管理を受ける時に団体名称、組織が必要であったので、その時に携わっていたトレッキングガイド倶楽部の名前とそのガイド仲間のメンバーも借りて立ち上げた。個人では普通の衣料品店をやっていたが今はやっていない。確定申告については金井商工会の会員になっており、キャンプ場の収益と多少の物売りもあるので合算し、相談した上で個人事業所として確定申告をしている。
長澤委員長	次の世代にというのは従業員や主体になる人をこの後変えていく予定があるということか。労働条件、最低賃金、休日等、その辺のところは考えているか。
大佐渡トレッキングガイドクラブ	現在は草刈りのアルバイトが主である。半日単位、時給単位で一人お願いしている。その他草刈り以外にはチェックイン時の利用料金の受渡し等もお願いしている。

<p>山本委員</p> <p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>利用者の内訳について聞きたい。島内外の割合はどの位か。</p> <p>島外の利用者が90%である。</p>
<p>山本委員</p> <p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>ゴールデンウィークの期間中の入り込みはどうか。</p> <p>10連休やお盆は本当に多かった。30サイト全部使用させると設備が故障した場合困るので29サイト使用した。また、キャンセル待ちの人は午後5時まで待ってもらい、その時間までに入ってこなかったら利用できるよう表の駐車場で待ってもらおうといった状況だった。</p>
<p>山本委員</p> <p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>島内の利用促進の為に、市の観光振興課等との連携はあるか。</p> <p>保育園のピクニックなどで利用してもらいたいと考えたが、保育園児はバスを使わなくてはならないためバス代が高く、なかなか利用してもらうのも難しい。先日は姫津保育園の園児が来る予定で、小さい保育園なので親が連れて来る予定だったが結局、台風で来ることはできなかった。バスを借りると10万円ぐらいかかる。社会福祉協議会に依頼できるか聞いてみたがなかなか厳しいようだ。個別で来てもらえばお手洗いや自由に使ってもらい、お弁当を持って来てそこで食べるというのも一つの案である。アスレチックは壊れているので再起不能であり、プールも故障しており使えない。迷路は草刈りをして綺麗になっているので多少手入れをすれば、まだ使えるので使ってみたいと考えている。</p>
<p>小澤委員</p> <p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>情報管理について、顧客データを管理者が携帯電話の中に入れて情報管理をしているとのことであるが、万が一の場合、その携帯電話の中の情報が消えた場合のバックアップについてペーパーでの管理等をしているか。また、安全確保の関係で道の工事等の迂回路情報発信を徹底したいと書いてあるが、過去に場内の事故は無かったか。緊急時の対応について事故がないから特に考えてはいないか。</p> <p>顧客名簿は書面で作っており、厳重に保管している。その名簿で年に200枚ほど年賀状を送っている。携帯電話は全て予約用の携帯電話となっており、随時、記録を削除している。また安全確保の面であるが、過去に事故等あったかも知れないが現在は無い。考えていないということではない。緊急時の対応であるが、以前は施設に泊まっていたが、現在は経費節減のためもあって施設まで10分で到着できる自宅に居て、何かあれば連絡をもらうようにしている。</p>
<p>山本委員</p> <p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>連絡はわかりやすいようにしてあるのか。</p> <p>キャンプ場の電話は全部、私のところに転送されるようになっている。</p>

<p>小澤委員</p>	<p>迂回路情報というのは、あそこは2本ラインがあり、山田地区ともう1本あるが林道はもう閉鎖状態になっているかと思う。その辺は、佐渡市の方とは連絡を取り合って改善は見込めるか。</p>
<p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>最初、山田地区の方々がやっていて、経営ができなくなり、途中で引き継いだものでそのままにしていた。そろそろ改善していかなければと考えている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>3年間経営して課題がだいぶ見えたかと思うが、要望も含めて聞かせてもらいたい。また、ペット連れの利用者について、利用状況を教えて欲しい。</p>
<p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>ペット連れの利用についてであるが、まだ、数字的には少ない。拡散していくしかない。このキャンプ場はペットを優先している。小さい犬であれば各旅館、ホテルではベランダで対応しているが、大きな犬を連れていくと居場所がない。繰り返し伝えて利用者を増やしたい。要望等はなく、とにかく施設を大事にして壊れないように運営している。来年度は他のキャンプ場の視察を予定して予算を組んである。当施設は本当に素晴らしいところで共同の大きな炊事場、トイレがある施設はたくさんあるが、サイトごとに炊事場、トイレが一つずつあるというのは佐渡の宝だと思う。現在、ドンデン山荘などと上手く連携が取れていないので今後は、例えば連携して同じ客が1泊の予定のところを2泊にするなどの佐渡で連泊できるような仕組みづくりができればと思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>窪田キャンプ場、関岬キャンプ場などと連絡を取り合うケースはあるか。</p>
<p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>滅多にない。客層が全く違う。過去に窪田キャンプ場を手伝ったことがあるが、それぞれ経営者の考えやテリトリーがあるように思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>ロングライドやトライアスロン出場者の利用はあるか。</p>
<p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>一緒に楽しむことを目的として、ロングライド、トライアスロンの出場者、ギャラリー、応援隊みんなでゆっくりしていただけるような案内をしている。今年の利用は4人。1回来たら帰さない方法を考えていきたい。収入も大切だが連泊をしてもらいたいと考えている。</p>
<p>小澤委員</p>	<p>市の公共施設でドックランの利用ができるのか。</p>
<p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>最初の年に、周りを竹で囲ってみたができなかった。柵を破って逃げてしまったので全部取っ払って、それぞれ自分のサイトに犬をおいてもらうようにした。</p>

<p>小澤委員</p> <p>大佐渡トレッキングガイドクラブ</p>	<p>施設の上にある公園の奥などを利用できるのでは。ドックランとまではいかないが周辺の空いている田畑を借りて、地域とタイアップしたドックランに近いものはどうかと思うが、あまりにも動物を主体とすると苦手な客もいるだろうから難しいのではないかと感じた。</p> <p>多少苦情もあったため、各サイトに置くようにしてもらっている。</p> <p>(サンライズ城が浜) (一社) 赤泊振興公社説明</p>
<p>岡本委員</p>	<p>収支予算書の中で、食堂売上げに対して仕入れが多額となっているが、食堂のみの仕入れ額なのか。</p>
<p>赤泊振興公社</p>	<p>日帰り以外の宿泊の朝・夕食も含まれている。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>何%位で考えているのか。</p>
<p>赤泊振興公社</p>	<p>食事、飲み物代も含めて 40%後半ぐらいを予定している。現在は、51%位の仕入率となっている。</p>
<p>内田委員</p>	<p>比較的安定している経営だと思うが、平成 28、29、30 年度と少し赤字が出てきているのが心配だが何か大きな原因が考えられるか。</p>
<p>赤泊振興公社</p>	<p>原因としては平成 28 年度の 10 月から人員体制を変更し、常勤を 1 人雇用した関係があるのと修繕関係の部分で赤字幅が大きくなっている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>赤泊航路が廃止になって、その影響もあるかと思うが、その辺の影響と今後現状の中で売上げを確保する、あるいは増加させる為の施策はあるか。</p>
<p>赤泊振興公社</p>	<p>今年の 4 月以降、赤泊寺泊航路が廃止ということで 4 月は良かったが、5～6 月売上げが前年度比 60～70%の落ち込みとなっている。売上げをいかにどうするかというのは宿泊単価が今まで安値で販売していたので、できれば宿泊代を改正して売上げを 500 円から千円位を目安にシーズンによっては値段を変えるような形で考えている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>自社のホームページでの集客という話だが、他の OTA や旅行会社等の考えはあるか。</p>
<p>赤泊振興公社</p>	<p>今ネット販売では自社ホームページ以外でじゃらん、楽天のネット販売、佐渡汽船絡みのネット販売を行っている。そちらからも PR やイベント情報等も出るのそういう所も活用しながら誘客に努めていきたい。</p>

山本委員	従業員について、主に臨時職員、非常勤職員の方だと思うが結構多く使われていると思うが、労働条件等労働時間、最低賃金、休日等について法令順守しているとは思いますがその辺のところでは何か工夫しているところはあるか。
赤泊振興公社	時間に関係する従業員の方はパートでお願いしている。予約状況を見ながらになるが、幸い施設から近い方々ばかりなので時間を調整しながら、来てもらっている。
山本委員	平成 31 年の損益計算書の中で水道光熱費が、1,470 万円で直近のその前年度が1,260 万円と約 200 万円高くなっているが何が原因であるのか。
赤泊振興公社	そのときは施設の水道管の漏水があって、200 万円近く損失が出ている。  (赤泊自然休養村管理センター) 赤泊農林漁業観光説明
加藤委員	今、赤泊航路が残念ながら動いていなく、その影響もあるかと思うが島外の利用者 と島民の利用者、料金は出ているがその辺の利用者の比率は分かるか。観光で利用 する方がどれくらいの比率か。
赤泊農林漁業観光	ほとんど島内である。高速船あいびすが就航していた頃は日帰り観光が多い。現在、 両津航路と小木航路があるが、赤泊まではレンタカー、自家用車がなければなかなか 来ることがない。
長澤委員長	事務局に質問する。(6)の防災計画について、貴施設は指定避難所となっている が、災害時の指定避難場所としての役割分担等を市ではどのように考えているのか。
防災管財課	赤泊自然休養村管理センターは今、指定避難所になっている。その際の役割分担に ついては、防災管財課防災安全係と相談しながら、災害時に指定管理者、市それぞれ がどういった役割をするか、また、避難所の確認や避難者の受入、連絡体制などを指 定管理者に示せる標準的なマニュアルを作成する予定である。指定管理者が決まり、 協定を結ぶ際に明記するようにしたいと考えている。  (交流センター白雲台) (有)浦島説明
加藤委員	10 年で一区切りつけたいと思うような苦労があったと思う。今後やっていく上での 課題や要望があれば、聞かせていただきたい。

<p>(有)浦島</p>	<p>市と県にもお願いしていることだが、山という条件の中で、名前の如く雲の上の場所なので天候が全く違い、下で雨が降るか降らないかでも雪になる場合もある。今年は4月にオープンしてから連休の27、28日に積雪が15cm位あったが閉鎖という指示が無いので帰れなく、閉鎖されたとしても、スカイラインを通る車が避難してくる恐れがあるため、すぐに帰ることもできない。従業員の安全も我々にとっては大事な項目の一つなので、その線引きをして欲しい。例えば警報が出たら、金山と白雲台のゲートを閉めてもらい、山に誰もいないという連絡をもらって、その上で我々も避難するというような形をとってもらう等安全確保に対しての方策を考えていただきたい。また、年に1回ないし2回、トレッキングでの遭難事故がある。昨年も遭難事故の際、市役所からの到着が遅れ、いつ施設自体の解除をしていいのかわからないのか、施設を開けてよいかというような連絡がうまく取れなかったため市役所にはマニュアル作成をお願いしている。やはり今まで10年間やって一番不安なところが、気候の状況を随時、観光客や市民に知らせるシステムを行政で構築して欲しいというのが、我々山の安全を考える中で1番大切なところになってくるのではないかと考えている。</p>
<p>長澤委員長</p>	<p>記録に残して検討していただきたい。</p>
<p>内田委員</p>	<p>この施設についてどこをメインに利用してもらうことを考えているのか。地元の商品は結構売れるのか。</p>
<p>(有)浦島</p>	<p>土産物で他の観光地にはない物があれば、ある程度値段が高くても売れる。最近だとあんぼ柿を100パック売店に置いたのだが、走りの物だということで売れており、昨日追加で70パック、今日は50パック置いた。山でありながら、わかめ・ひじきや海産物を加工した物を置いているのが他の観光地にはなく珍しいということで皆さん買ってくれている。</p> <p>(窪田キャンプ場) OuT DooR' s 説明</p>
<p>加藤委員</p>	<p>外国人対応のため、簡単な英会話マニュアル作成とあるが、外国人の利用は結構あるか。</p>
<p>OuT DooR' s</p>	<p>欧米系、アジア系が多い。アジア系は毎年12~13組ほど利用している。他のキャンプ場が8月いっぱい終わるとのことと、バスターミナルが近いために利用する方がいるのだと思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>そういった方々はどのようにして窪田キャンプ場を知って来るのか。</p>
<p>OuT DooR' s</p>	<p>両津観光案内所に問い合わせがあるようで案内所から予約の電話がくる。あまり日</p>

	<p>本語がわからなくても利用している。何泊するか、どういう目的で来るのかなど簡単なことは英語で書いて確認している。</p>
長澤委員長	<p>常勤職員 2 人と非常勤職員 5～6 人が働いているようだが、労働条件などについて、最低賃金、あるいは労災保険等の加入状況など確認したい。</p>
OuT DooR' s	<p>労災保険は入っていない。賃金について、事務受付は 900 円で草刈りやサイト整備は 1,000 円である。高齢者が多いので 1 日だときつい時は半日などにして時間を調整しながらやっている。2 年半ぐらいやってまだ怪我はない。これから考えていく。</p>
小澤委員	<p>草刈りなどを高齢者に委託しているということだが、事業義務として賃金を支払う以上はその者が特別講習を受けている確認をしているか。事故があった時にはそこまで確認され、やっていないと管理義務違反になるので一応参考までにできるだけやっておいた方が良くと思う。事故が起こった際の保険の問題もある。特別講習は 1 日だけの講習で金額も安い。事業主のリスクを軽減するという意味であり、会社ではなく個人事業主でやっているという事を知らないでやっている場合もある。何か事故があった時に、事業主が困ることになると思い、念のために確認をした。</p>
OuT DooR' s	<p>いただいた意見に対応できるようにしたい。</p> <p>(審査)</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>